

□■レポート作成講座 5号 2021□■

コロナ禍でのオリンピック大会が始まりました。大会後の感染拡大も心配される中、8月にはパラリンピックも予定されています。

今回の○×クイズは、東京パラリンピックにちなんだ出題です。

【国試対策○×クイズ】

パラリンピックは、イギリスの病院での脊髄損傷者が参加する競技会の開催がきっかけとなった。

答えと解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info

今年度の全国5会場に集まって行うスクーリングは、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

5月28日付でホームページにお知らせを掲載しています。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?p=4183>

※スクーリング代替授業の詳細については、6月下旬に全受講生に向けて発送しています。届いていない場合やご不明な点がある際は、本養成所にお問い合わせください。

※オンライン授業を受講した皆様は、アンケート（クラス別ページよりダウンロード）の回答・提出をお願いいたします。

※オンデマンド動画の配信期間は8月31日（火）まで、受講確認票の提出期限は9月6日（月）当日消印有効です。改めて確認をお願いいたします。

■Test Info

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第34回国家試験は、令和4年2月6日（日）です。

詳しくはこちら→<http://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>

- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://www.spw-mosi.com/exam/>

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

■Plus Column

【時事問題にアンテナを】

皆様、レポート提出お疲れ様でした。ひと山越えましたね。オンデマンド動画の視聴と受講確認票の作成も少しずつ進めてください。オンライン授業を8月に控えている皆様は、再度日程などの確認をお願いします。

本講座では、レポート審査前に返送されることがないようにチェックポイントを確認してきました。残念ながら、返送となったレポートの多くは、引用・参考文献の未記入や不備です。また、用語の定義や説明をしているのに文献表示がないもの、テキスト番号だけで版数や章、ページ数が書かれていないもの、規定文字数に達していないもの、段落のないものなどが見られました。

受付不可の方には、順次、返送し理由をお伝えしています。期限までに修正したものを提出いただければ、通常と同じように審査しますので、修正してください。

レポート作成講座最終回の今回は、「時事問題」についてお伝えします。レポート課題にも最近の動向をふまえたものがあります。例えば、1年生は、新型コロナウイルス感染症、SDGs、外国人労働者、共同生活援助日中サービス支援型、改正社会福祉法、2年生では近年の教育問題、改正障害者総合支援法、トランスジェンダーなどです。

こうした知識を正しく理解するには、テキストだけでは足りません。常に、時事問題に関心を持って、日頃からニュースや新聞、福祉関連の業界紙や雑誌、パンフレットなどに親しむようにしましょう。

国家試験でも時事問題は毎年出題されています。第33回では、SDGsや同性パートナーシップ証明、介護ロボット技術、直近の白書や統計値、法改正に関する問題がありました。「今」起こっていることではなく、少し前のことが出題される傾向にあります。日頃から時事問題にアンテナを張り、世界の動きに敏感になることが国家試験対策なのです。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【国試対策○×クイズ：答えと解説】

【答え】○

パラリンピックは、障害のあるアスリートが出場できる国際競技大会です。国際パラリンピック委員会（IPC）は、大会を通じ共生社会の実現を促進することを目指しています。（日本パラリンピック委員会 HP から）

1948年、イギリスのストーク・マンデビル病院で、脊髄損傷科長グッドマン卿の発案により行われたアーチェリー大会が原点になるそうです。大会は、ロンドンオリンピックにあわせて開催され、16人の車椅子を利用する患者が参加したそうです。第1回パラリンピックとして位置づけられたのは、1960年ローマ夏季大会です。オリンピックの開催年に、原則としてオリンピックと同じ都市・同じ会場で行われます。

パラリンピックは、スペシャルオリンピックス、デフリンピック等とともに「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」の30回に出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus